

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No.132



2000. 7

- シリーズ“！” 著者名から本を探す ●電子図書館化を巡って ●教官著作寄贈図書一覧 ●開館時間が延びました(静岡本館)
- 分館に自動貸出返却装置導入 ●図書館利用統計 ●図書館の動き ●夏休みのお知らせ

シリーズ“！”

著者名から本を探す

いきなりはじまったこのシリーズ、図書館を使う上でのちょっとしたヒントなどをあげていきます。第1回目は、意外に面倒な、著者から静大の蔵書を探す方法です。

村上春樹の著書をさがすには、姓と名を切り離して、横に並べる。

著者▼ 村上
著者▼ 春樹

静岡大学附属図書館
所蔵資料検索システム

資料検索

- ・ 図書
- ・ 和図書
- ・ 洋図書

- ・ 雑誌
- ・ 和雑誌
- ・ 洋雑誌

ヘルプ

著者▼ ムラカミ
著者▼ ハルキ

でもよい。

示件数 15

件数: 15件

- 1 A wild sheep chase / Haruki Murakami ; translated by Alfred Birnbaum||
- 2 Dance dance dance : a novel / by Haruki Murakami ; translated by Alfred Birnbaum||
- 3 Hard-boiled wonderland and the end of the world : a novel / Haruki Murakami ; translated b
- 4 アンダーグラウンド / 村上春樹著
- 5 ザ・スコット・フィッツジェラルド・ブック
- 6 ダンス・ダンス・ダンス / 村上春樹著
- 7 ノルウェイの森 / 村上春樹(著)
- 8 ノルウェイの森 / 村上春樹著
- 9 ルーヴル美術館とパリの素描 / 諸川春樹訳
- 10 回転木馬のデッド・ヒート / 村上春樹(著)
- 11 堂・納屋を焼く; その他の短編 / 村上春樹著

いろんなヴァリエーションです。(ちょっといやな例)

[illegible]

わからないことがあったら、カウンターまでおたずね下さい。

電子図書館化をめぐる

郡 司 久

今、世の中は情報化のまっただ中にあり、「IT革命」等と言われるほどに社会に大きな変化をもたらしつつある。今後も予想し得ないほどの変貌を遂げるのは間違いない。ところで大学図書館の風景もかなり様変わりした。所蔵目録等の検索やインターネットにアクセスできる利用者パソコンがあると思えば国際放送の視聴設備である。ちなみに図書館に来る多くの学生が携帯電話を持っているらしい(館内では使用禁止だよ)。如何に情報化社会が急速に到来し、浸透したかを間近で感じさせてくれる。大学図書館に備え付けられる資料も、旧来からの冊子体資料の他にいつの間にかビデオ等の視聴覚資料、CD-ROM等の電子資料までもが集められている。電子図書館という概念はこの情報化の延長上にあるのだろうか。大学の教育と研究活動を支援する大学図書館に電子図書館化がもたらすものは何だろう。また、電子図書館化は、今進展しつつある大学改革には貢献できるのだろうか。

電子図書館化は、少なくとも図書館が現有機能を情報化に対応させるといった考え方では、従来の電算化と呼ばれた合理化、効率化の域は超えられない。そんな気がしてならない。情報化を多機能な手段と捉え新たな図書館サービスの展開に結びつけるといった積極的な意識が重要である。そうすることによって図書館機能を飛躍的に拡大、高度化できるはずだ。最近いくつかの大学で開発・運用されている電子図書館機能がある。これらには種々の特徴があって、貴重資料、学内研究成果あるいは学術雑誌・学会誌等、資料の電子化・公開に重点を置くもの、ドキュメントデリバリー機能や学術情報ナビゲーション機能等に重点を置くもの等、なぜか様々である。また電子図書館化の方向を探っている時期なのかもしれない。大学図書館員は、これらの先導的な取組を注意深く見守っていくべきだろう。

ここで新たな視点から電子図書館化のひとつの機能を提案してみよう。大学図書館と学生や研究者等、利用者が協調して知的共有財産を構築し、また利用もする、言うなれば「協調型電子図書館

機能」とでも呼ぶべきものである。例えば、調べたいテーマがあり、情報検索等により目的とする資料に辿り着くまでのプロセスを蓄積する。すると様々な利用形態が考えられ、情報検索機能の飛躍的な高度化につながるはずだ(大学審議会の大学改革の答申では「課題探求能力の育成」があり、これとの関係も若干は気になるが)。蓄積するのは調査対象テーマ、検索キーワード、検索データベースや利用した資料名等である。これらを図書館だけでなく利用者自身も登録蓄積するのだ。図書館が自動的に収集することも将来的には可能かもしれない。もちろんプライバシー保護や情報の正確性維持といった検討は必要だが、資料の目次情報の登録よりよほど効果的とも思える。この例のように利用者と資料の距離を近づける様々な協調機能を開発できる可能性は十分あるのだ。「協調型電子図書館機能」が実現できれば、大学はもちろん高等教育全体の充実につながっていくと思うのだが・・・。

現時点での本学附属図書館の電子図書館化に向けた取組みは、博士学位論文要旨を電子化してホームページにより国内外に公開している他、ネットワーク環境や利用者パソコン等基盤整備を行っているレベルで、電子図書館化はまだまだ初期段階であろうか。平成10年度末には「附属図書館高度情報化計画」を作成・公開した。これは実質的には電子図書館化計画をも成すもので、附属図書館の高度情報化に向けた具体的な方策を短期的、中長期的に分けて提案した。特徴的なものとして、図書館の様々なサービスを効率的に利用できる総合ナビゲーション機能の必要性や、高度情報化を効率的に推進するための附属図書館研究開発組織の必要性といった新しい視点での提案も含んでいる。

今、この計画に沿って電子図書館化の基礎となるであろう所蔵資料や学内研究成果の電子化・公開の具体的な方策について検討しているところである。電子図書館化を具体的に進めていくと、研究紀要類の電子化ひとつをとっても附属図書館単独では難しいのが現状だ。学内全体での連携し

た推進体制がどうしても必要だ。ハードウェア・ソフトウェアもちろん重要で、経費確保も大きな課題となって立ちはだかっている。

ところで今後の出版動向であるが、学術関係の電子的資料が増加することも確実だが、今の出版界の動きからするとかなりの将来に渡って冊子体資料はなくなってしまうだろう。従って、大学図書館は、冊子体資料の整備はもちろん、閲覧席とい

った学習環境等、旧来からの図書館機能の充実も重要であると十分に踏まえた上で、理想的な電子図書館化を実現していくべきである。

今、静岡大学附属図書館は、電子図書館化に限らず、増築等、種々の課題を抱えている。附属図書館が真に静岡大学の支えになれるように、着実に前に進んでいけるようにと願う今日この頃である。

(附属図書館情報管理課長)

教官著作寄贈図書一覧

*このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。なお今回はすべて浜松分館の受入分です。

◇石井仁(工学部)

- ・転位に基づく破壊力学(J.ワートマン著)培風館【501.32/W53】<共訳著>

◇福田明(工学部)

- ・基礎通信工学 森北出版【547/F74】
- ・流星バースト通信 コロナ社【547.5/F74】

図書館では学内出版物及び関係者が執筆した図書資料を収集しています。出版されました是非、ご恵贈くださるようお願いします。

◇牧野紀之(工学部)

- ・労働と社会(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】
- ・先生を選べ(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【370.4/MA35】
- ・ヘーゲルの目的論(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】
- ・ヘーゲルと共に(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】
- ・ヘーゲルと自然生活運動(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】
- ・困り裏端(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】
- ・ヘーゲルの社会主義(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】

・哲学夜話(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】

・ヘーゲルからレーニンへ(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】

・ヘーゲルの修業(鶏鳴双書) 鶏鳴出版【104/MA35】

・音読主義のドイツ語 信山社出版【840.7/MA35】

◇山道佳子(情報学部)

- ・バレスチナ日記(ファン・ゴイティソーロ著) みすず書房【966/G74】<訳著>
- ・嵐の中のアルジェリア(ファン・ゴイティソーロ著) みすず書房【302.433/G74】<訳著>
- ・サラエヴォ・ノート(ファン・ゴイティソーロ著) みすず書房【302.393/G74】<訳著>
- ・世界の民：光と影 上, 下(信濃毎日新聞社編) みすず書房【316.8/SH59/1-2】<下巻執筆>
- ・バルセロナ：地中海のざわめき 洋泉社【293.6/Y31】<共著>
- ・発禁カタリニャ現代史(セスク画, モンセラ・ローチ文) 現代企画室【236.07/C29】<共訳著>
- ・運命の船 サンフェリーペ号 南の風社【210.48/SA62】<共編集>

◇飯田弘之(情報学部)

- ・Games in AI research Unversiteit Maastricht【007.1/V26】<共著>

開館時間が延びました(静岡本館)

静岡本館の開館時間が、以下のように変更になりました。

月～金 9:00～22:00

土 11:00～19:00

より一層のご利用をお待ちしております。(最終頁の夏休みの開館予定もご覧ください)



分館に自動貸出返却装置(ABC-II)が入りました

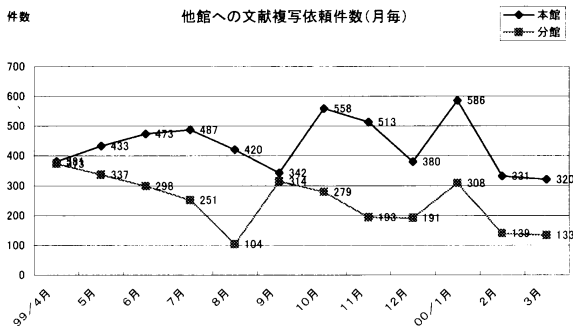
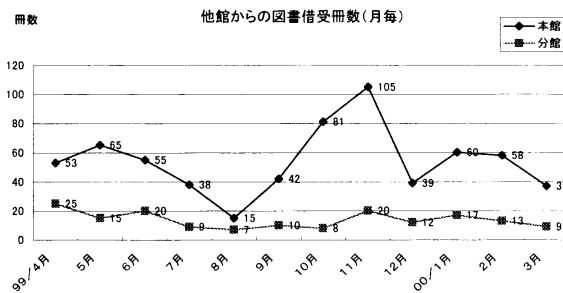
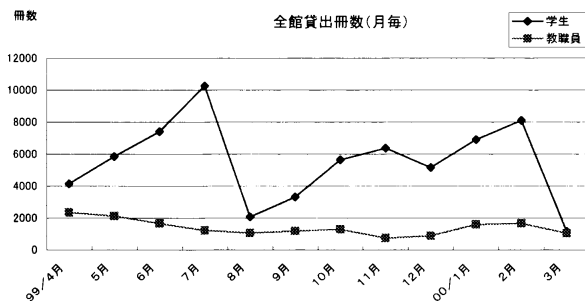
《貸出がセルフサービスで簡単にできます♪》



浜松分館に今年の4月より自動貸出返却装置(ABC-II)が入りました。従来の貸出カウンターの右手に設置してあります。

磁気式の学生証をお持ちの方ならご自分で貸出処理ができます。また学部生の方は貸出期間の延長もできますのでお気軽にご利用ください。

詳しい利用方法等はカウンターの職員までお尋ねください。



図書館の動き

◆ 会 議

平成12年度東海地区国立大学図書館協議会総会
(平成12年4月28日(金) 於：豊橋技術科学大学)

図書館長、事務部長、情報管理課長が出席。

国立大学図書館協議会関係諸会議、地区協議会活動状況報告が行われた後、文部大臣に対して特に要望する事項等について協議された。続いて、当面の諸案件について活発な意見交換が行われた。

平成12年度国立大学附属図書館事務部課長会議
(平成12年5月23日(火) 於：東京医科歯科大学)

事務部長、情報管理課長、情報サービス課長が出席。

文部省学術国際局学術情報課長による学術行政の当面する諸問題及び大学図書館の当面する諸問題について講演があり、続いて図書館情報大学事務局長による大学改革と大学図書館のあり方についての講演等、多彩な有識者による講演・説明が行われ、当面する諸問題への積極的な取組について共通の認識を深めた。

◆ 人事異動

平成12年3月31日<退職>

石原 良江 (図書館専門員)
杉坂 和子 (総務係主任)

平成12年4月1日 <採用>

尾藤 泰代 (管理運用係)

平成12年4月1日<転入・転出>

奥田 道夫 (情報管理課長→金沢大学附属図書館情報管理課長)
白石 光雄 (上越教育大学教務部図書課長→情報サービス課長)
兼子 悦治 (主計課管財係長→総務係長)
江口 敏一 (管理運用係→豊橋技術科学大学教務部図書課)

福井 郁夫 (人文学部学務係→参考調査係)

平成12年4月1日<配置換え>

郡司 久 (情報サービス課長→情報管理課長)
茎田 美保子 (資料受入係長→管理運用係長)
林 三千代 (参考調査係→管理運用係)
杉浦 昭重 (総務係→資料受入係)
石田 朋子 (資料受入係→目録情報係)
滝浪 純子 (目録情報係→総務係)

平成12年4月1日<昇任>

畠山百合子 (管理運用係長→図書館専門員)
佐藤 和慧 (管理運用係→資料受入係長)

◆ 平成12年度附属図書館委員会委員

図書館長	浅井 哲也	
浜松分館長	岡村 静致	
人文学部	布川日佐史	今井 駿
教育学部	色川 卓男	笹沼 弘志
情報学部	鎌田 哲宏	白井 靖人
理学部	塩井 祐三	谷本 光敏
工学部	前田 恭伸	
農学部	岡部 満康	原田 久
電子科学研究科	高野 泰	河本 映
電子工学研究所	喜多尾道火晃	坂口 浩治
事務局	猪又 二郎	
附属図書館	下村 一夫	

◆ 平成12年度図書館通信編集委員

館長	浅井 哲也
人文学部	今井 駿
理学部	谷本 光敏
附属図書館	郡司 久 鈴木 健太
	杉浦 昭重 溜渕 文子
	真川 進 横山 芳美
	山川 玲子 釜田香寿枝

夏休みのお知らせ

本館（静岡）

●夏休みの開館予定

7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	
17	18	19		21	22	
24	25	26	27	28	29	
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	
	28	29	30	31		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	
	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14		16
	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30

□ 開館 平日 9:00～22:00 土曜日 11:00～19:00

■ 開館 平日 9:00～17:00 各季の休業期間中

■ 休館 日曜・祝日、創立記念日、年末年始、各季の休業期間中の土曜日

※ その他の臨時の休館日は、別途お知らせします。

●返却期限日の変更

平成12年7月25日(火)から平成12年9月25日(月)までに貸出した図書の返却期限日は、次の通りです。

平成12年10月10日(火)

分館（浜松）

●夏休みの開館予定

7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	
17	18	19		21	22	
24	25	26	27	28	29	
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	
	28	29	30	31		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	
	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14		16
	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30

□ 開館 平日 9:00～20:00 土曜日 9:00～17:00

■ 開館 平日 9:00～17:00 各季の休業期間中

■ 休館 日曜・祝日、創立記念日、年末年始、各季の休業期間中の土曜日

※ その他の臨時の休館日は、別途お知らせします。

●返却期限日の変更

平成12年7月21日(金)から平成12年9月1日(金)までに貸出した図書の返却期限日は、次の通りです。

平成12年9月16日(土)

静岡大学附属図書館報「図書館通信」 第132号（平成12年7月1日発行）

発行所 静岡大学附属図書館

〒422-8529 静岡市大谷836 Tel.054-238-4475

Fax.054-238-5408